



Magtration System 12GC

Automated Nucleic Acid Isolation and Purification System

クイックマニュアル ~ Genomic DNA Purification Whole Blood ~

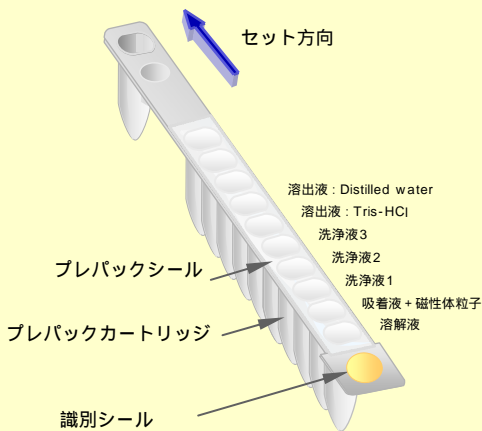


処理時間

全血からのDNA抽出：約30分



試薬 (Magtration® Genomic DNA Whole Blood : Code No. E1010)
ICカード (Genomic DNA Whole Blood : Code No. I-1210)



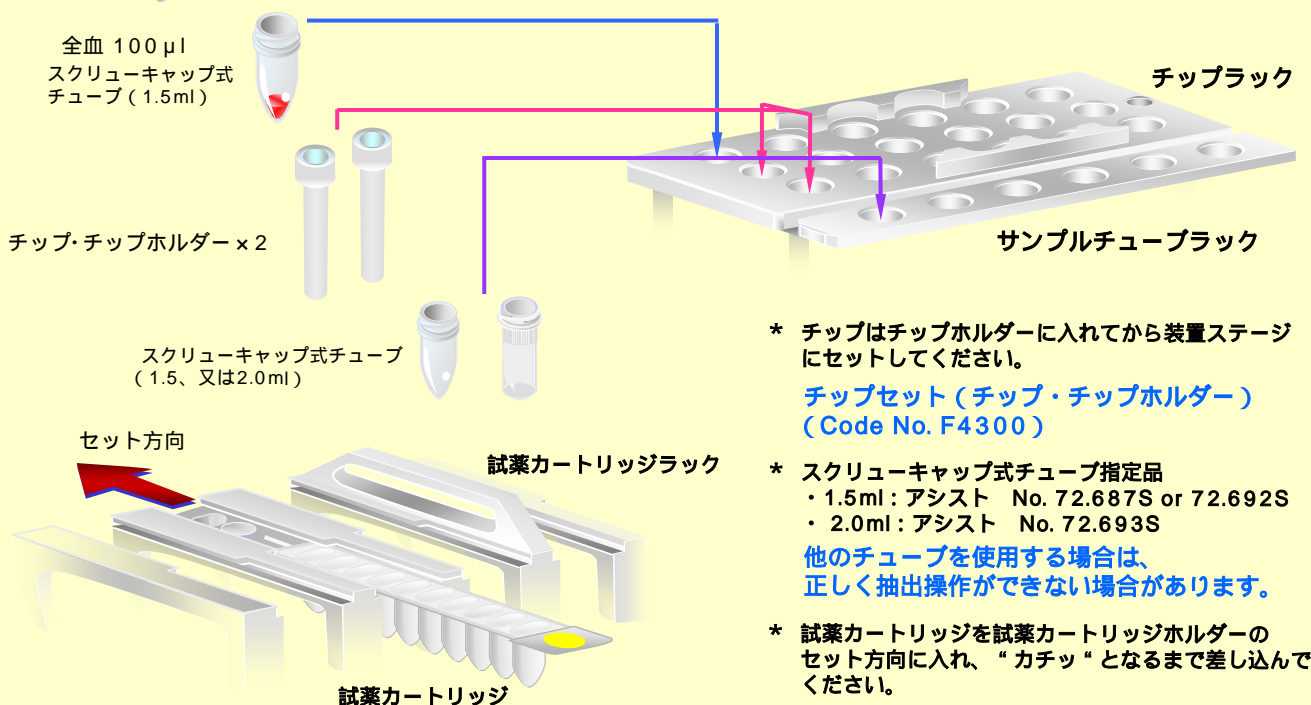
Check!!

1. カートリッジ試薬に気泡が入っている場合は、軽くたたいて除いてください。気泡が入ったまま処理を行うと、試薬を完全に吸引できなかったり、攪拌時に泡立ちすることがあります。
2. シール部分やウエル内に試薬及び水滴の付着が見られる場合、軽く振って落として下さい。特に磁性粒子がウエルの壁面についている場合、泡立たないように転倒混和して壁面から剥がしてください。

本試薬は、室温（15～25℃）にて保存し、高温多湿、及び振動のあるところは避けてください。また、アルミシールを上にして保管してください。



サンプル・消耗品のセット





処理のスタート

ICカードがセットされていることを確認して下さい。()

Magtration System 12GCの電源をONします。

自動的にMenu画面へ移行します。

START キーを押す。

実行モード (ICカードのプロトコル名が表示されると同時に自動的に原点復帰を行います)

Sample 情報画面へ移行します。

Enter キーを押す。

Elution Bufferを選択します。

Tris-HCl(pH8.0) **1** キーを押す。

Distilled water **2** キーを押す。

START キーを押す。

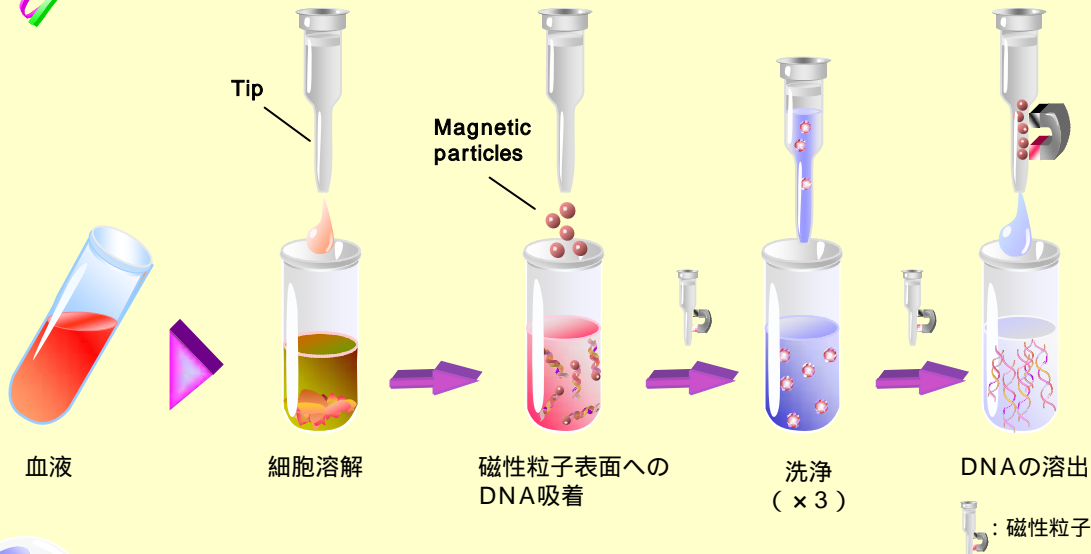
実行

* RUN終了後にピープ音が鳴ります。

ICカードの抜き差しは、本体の電源がOFFの状態で行ってください。
また、12GC専用のICカードをご使用ください。



抽出工程 - Genomic DNA -



トラブルシューティング

症状	原因	コメント
収量が低い	サンプルの状態	サンプルとして使用した血液の保存温度等にご確認ください。また、サンプルは十分室温に戻してから抽出操作を行ってください。
PCRがうまくいかない	ターゲットサイズ	本試薬で抽出されるDNAの平均鎖長は40kbp程度ですので一般的なPCRには特に問題はありませんが、ターゲットサイズにより増幅しにくいことがあります。
	PCRのコンディション	溶出液としてTris-HCl緩衝液を選択した場合、次工程の反応条件によっては反応に影響が出る可能性があります。その場合は、溶出液の選択を滅菌水にし、抽出操作を行った物をサンプルとしてご使用ください。